令和３年７月度 理事会議事録

東部金属熱処理工業組合

１．招集年月日　令和３年６月２５日（金）
２．開 催 日 時　令和３年７月２１日（水）　１３時３０分～１５時３０分
３．開 催 場 所　理事全員の同意により Web 会議システムにより開催
４．理 事 総 数　２４人
５．監 事 総 数　２人
６．出席理事数　１８人（Web 会議システムによる出席１８人）
７．出席監事数　２人（Web 会議システムによる出席　２人）
８．出席理事の氏名

嶋崎 利行、曽根 光彰、南　直樹、玉木 寛之、安室 篤志、山田　毅、齊藤 基樹、上島　健、秋山 正稔、原田 政吾、田村 大輔、横山 聡洋、竹内 博次、金子 典生、平井 英次、藤田 亮則、後藤 章洋、川村 道夫

９．出席監事の氏名

川崎一郎、秦　研二

１０．出席組合員の氏名

出席組合員はいない

１１．議長の氏名

嶋崎 利行

１２．決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名

該当する理事はいない

１３．議事の経過の要領及びその結果（議案別の議決の結果、可決、否決の別及び賛否の議決権並びに賛成した理事の氏名及び反対した理事の氏名）

定刻に至り、嶋崎理事長から挨拶があった。挨拶の後、理事会開会を宣し、本日の理事会は Web 会議システムを利用して行う旨を述べ、出席者が一堂に会するのと同等に適時・的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認し、ただちに議事に入った。

第１号議案　インターネットバンキングの導入について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、今まで会計担当副理事長に毎月頭に月次監査と支払業務承認のために来所をお願いし、相当な負担を掛けていたことの説明があった。今回、山田理事に会計担当をお願いするにあたり、確認及び承認方法を見直すことになり、インターネットバンキングの導入をすることになったことの報告があった。

続いて資料に基づき、三井住友銀行のインターネットバンキングについて説明があった。主な内容としては、①初期費用及び月額費用が掛からない。②登録者３名（管理権限者１名、利用者２名内１名のみ振込手続き可）。③当日のみ振込が２０件まで出来る。予約振込はできない。④振込手数料が抑えられる。

会計処理の確認及び承認方法については、①安室専務理事が月次決算及び支払明細表を確認し、押印したものをデータ化し、山田会計担当理事にメールで送る。②山田会計担当理事がそれらを確認の上、押印したデータを事務局に送る。③そのデータを事務局で保管する。④支払実行後に山田会計担当理事に口座の入出金をネットで確認してもらう。

山田会計担当理事から、毎月頭に事務所に行くことが困難なこととコロナの状況もあり、人との接触を避ける方法を模索した結果、インターネットバンキングの導入を提案したことの説明があり、権限の管理と定期的な事務所訪問を実施してリスクを軽減し、健全な運営に努めたいと述べられた。また、（一社）日本金属熱処理工業会の会計管理についても石原専務理事と検討を進めていることの説明があった。

嶋崎議長から、チェック体制を整えることを目的としていることの説明があり、（一社）日本金属熱処理工業会についても同様にチェック体制を整えたいと述べられた。

田村理事から、当日振込ということで確認から決済までのインターバルが気になるので、予約振込が出来るようにした方が良いのではないかと質問があり、嶋崎議長から運用している段階で不具合があれば検討することの説明があった。安室専務理事から、支払については、事前に山田会計担当理事に確認をいただいた上で実行するとの説明があった。

嶋崎議長は、インターネットバンキングの導入について議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第２号議案　創立５０周年記念事業について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から資料に基づき、開催候補日、会場及び委員会の構成について説明があった。メンバーについては、嶋崎理事長の「次世代」の方にお願いしたいという意向から、青年部会メンバーを中心に構成を考えることになり、メンバー案（１５名）が示された。

開催候補日：令和４年１０月２６日（水）大安

会場候補：日本工業倶楽部　※会員であれば、1年前から予約可能。
会員の日本パーカライジング㈱に予約を依頼。

実行委員会：式典、記念誌、表彰の３小委員会を設置

メンバー案：曽根副理事長、南副理事長、玉木副理事長　（順不同、敬称略）

（青年部会）

田村 大輔、横山 聡洋、山田　毅、熊木　宏、上島　健、川崎 一郎、藤田 亮則、吉池 一樹、皆川 政男、後藤 章洋、山口 直延

（総務委員会）

奥谷 将之

嶋崎議長から、次世代の方々に記念事業を担っていただきたいことと自身は総括として関わり、実行委員長を曽根副理事長、副実行委員長を南、玉木両副理事長にお願いしたことの報告があり、内容については、前回を踏襲するのではなく、未来志向として全く一から始めて欲しいと伝えたことの説明があった。この理事会で承認いただき、進めて行きたい旨述べられた。

嶋崎議長は、創立５０周年記念事業について、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第３号議案　令和３年度東京都中小企業団体中央会会長表彰候補者推薦について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事は、東京都中央会表彰規程の推薦基準を朗読したのち、この要件に該当する候補者の経歴概要を説明した。

審議の結果、嶋崎議長より下記の組合功労者１人を推薦することを議場に諮ったところ、全員一致で可決決定した。

組合功労者　　秋山 正稔

第４号議案　青年部会の活動状況について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、６月２８日に開催された令和３年度第１回青年部会について、今回も関東経済産業局から猪俣課長以下６名参加があったことの報告と内容について議事録に基づき説明があった。主な内容については以下の通り。

①関東経済産業局からの情報提供について［ア．自動車産業を巡る状況と対応の方向性、イ．中堅・中小企業とスタートアップの連携、ウ．施策概要について（事業再構築補助金、IT導入補助金）］、②令和３年度活動計画について［ア．講演会・セミナーの開催、イ．熱処理業界のPR、ウ．関東経済産業局との連携、エ．メンバーからの提案］、③市場動向の情報交換［ア．カーボンニュートラルへの対応、イ．半導体や鋼材不足の影響等］、④次回の開催とセミナーの開催について。

田村部会長から、今回の開催に関しては、カーボンニュートラルや自動車産業の今後を考える上で良い機会と捉え、関東経済産業局に短い期間で貴重な資料（自動車産業を巡る状況と対応の方向性）をご用意いただいたことの報告があり、１０月にこの資料を掘り下げた内容でセミナーを開催したいと考え、８月上旬に正副部会長で内容を検討することになっていることの説明があった。

続いて今後の活動として、２００６年に営業委員会（現マーケティング委員会）で実施された「業界をとりまく環境の変化と組合の対応」の１９社に行ったヒアリング調査をブラッシュアップして実施することも検討して行きたいと考えていることと関東経済産業局から情報提供をいただくばかりではなく、マーケティング委員会で行っている熱処理業界の業況調査を直接的な表現を避けた内容で提供することについての説明があり、承認をいただきたいと発言があった。

嶋崎議長から、近未来に直結するテーマに取り上げているので、情報や調査結果等についてフィードバックをしていただきたい旨、述べられた。

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、青年部会活動状況について全員異議なく承認された。

第５号議案　各委員会等の活動状況について

嶋崎議長の指名により、曽根副理事長から、６月１１日に実施された令和３年度第１回総務委員会について議事録に基づき、報告があった。主な内容としては、①新体制について（担当副理事長、委員長、副委員長の変更、玉木副理事長のオブザーバー参加）、②令和３年度事業計画について（年４回開催、SDGs の取組み、組合 HP の更新及びアクセス数からの分析）。

玉木副理事長から６月１７日開催の第１回 BCP 推進 WG について、議事録に基づき説明があった。主な内容としては、①エリアリーダーの選定、②チラシの作成、③関東経済産業局と連携について。

嶋崎議長から、コロナの件もあり BCP の構築が必要になって来ている旨述べられた。

続いて南副理事長から、７月７日 Web 開催の技術・品質合同委員会について議事録に基づき説明があった。主な内容については、①新体制について（担当副理事長の変更、委員の交代）、②初級熱処理塾の結果について、③中級熱処理塾の実施状況等について、④今後の活動計画について（ISO 内部監査員養成研修会、ガス燃焼技術基礎研修会については、アンケートでニーズの確認）。

横山理事（技術委員長）から、課題となっている「講師の育成」についてどう進めて行くべきか苦慮していることの説明があった。

嶋崎議長から、自前の講師の育成については、候補として自社の社員に依頼があった際は協力をお願いしたい旨述べられた。

藤田理事（品質委員長）から、講師の候補も含めてテキストの見直しについても検討会の開催及びメンバー構成も含めて検討して行きたいことの説明があった。

嶋崎議長から、テキストについても検討会のメンバーの人選も含めて進めて欲し旨、述べられた。

玉木副理事長から、６月２３日開催の（一社）日本金属熱処理工業会のマーケティング委員会について報告があった。（自主行動計画フォローアップ調査の発注側の調査の追加について、金属熱処理業あんしん保険の見直し）。続いて７月９日開催のマーケティング委員会について報告があった。主な内容としては、①新体制について、②価格サポートセミナーについて（オンライン営業をテーマ、講師候補は関東経済産業局からの紹介）、③購入品価格調査の実施について（ソルトに関する項目の追加）、④市場動向に関する情報交換について（関東経済産業局への情報提供について）

玉木副理事長から、BCP 推進 WG に追加して、内閣府の「令和２年度企業防災力向上のための事業継続計画（BCP）策定・運用に関する」調査結果について報告があった。

嶋崎議長から、金属熱処理業あんしん保険について制度の見直しが必要なことの説明があった。

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、全員一致で承認された。

第６号議案　報告事項その他について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から今年度から取組んでいるハイブリッド型の講習会（6/26（土）「中級熱処理塾」、7/17（土）、18（日）「金属熱処理技能検定試験受験対策講習会」）の実施状況と第４２回日熱会の日程について報告があった。

続いて内閣府ホームページの「令和２年度企業防災力向上のための事業継続計画（BCP）策定・運用に関する」調査結果と青年部会で使用した資料「自動車産業を巡る状況と対応の方向性」について提示があった。

嶋崎議長から、マーケティング委員会のセミナーに経済産業局の取引適正化のガイドラインの説明のための参加依頼が来ていることの説明があった。

嶋崎議長から理事に発言が求められた。

齋藤理事から、「山梨県プロフェッショナル人材戦略拠点」（県内中小企業の成長の実現に向け、専門的な技術や知識等を持つプロフェッショナル人材の活用ニーズを掘り起こし、都市部からプロフェッショナル人材の地方環流を促進する。）の取組みについて説明があり、業界で取り込めるのではないかと意見があった。

上島理事から、コロナワクチンの接種券は届いているが、従業員の大半がまだ接種が出来ていない状況で予断が許されない状況であることの報告があった。

秋山理事から、中央会の会長表彰の推薦について謝辞があり、講師の育成やテキストの作成等について協力して行きたい旨述べられた。

竹内理事から、自社の状況について業績が回復して来ていることの報告があった。

金子理事から、将来に向けて CASE、MaaS や SDGs の取組みをしていることと海外拠点については、コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況であることの報告があった。

平井理事から、就任から１年経ち、まだ組合活動について分からない点があるが、今後貢献して行きたい旨述べられた。

後藤理事から、オリンピック開催による影響について質問があり、玉木副理事長から高速道路の通行料の値上げと電車の終電の延長について説明があった。

川村理事から、東京都のコロナ感染者数の増加から東京工業大学の製造中核人材育成講座「金属熱処理スーパーマイスタープログラム」の自社受講者２名の実習への参加について不安を感じている旨述べられた。

川崎監事から、コロナの影響はあるが、業績は堅調に推移している点と青年部会についても積極的に参加して行きたい旨述べられた。

秦監事から、コロナ前の状況に回復して来ているが、材料費が高騰して来ていることの報告があった。

以上をもって、議案全部の審議を終了したので、議長より閉会を告げ散会した。

令和３年７月２１日

東部金属熱処理工業組合理事会

議長理事　嶋崎 利行　㊞

出席理事　曽根 光彰　㊞

〃　南　直樹　㊞

〃　玉木 寛之　㊞

〃　安室 篤志　㊞

〃　山田　毅　㊞

〃　齊藤 基樹　㊞

〃　上島　健　㊞

〃　秋山 正稔　㊞

〃　原田 政吾　㊞

〃　田村 大輔　㊞

〃　横山 聡洋　㊞

〃　竹内 博次　㊞

〃　金子 典生　㊞

出席理事　平井 英次　㊞

〃　藤田 亮則　㊞

〃　後藤 章洋　㊞

〃　川村 道夫　㊞

出席監事　川崎 一郎　㊞

〃　秦　研二　㊞